

かがやく花々

平和の子ら

学校法人平和学園
平和学園小学校
2016年度 学校だより 第5号
〒253-0031
神奈川県茅ヶ崎市富士見町5-2
Phone 0467-87-1662/ 0131
Fax 0467-87-0411
サイト <http://www.aletheia.ac.jp/s/>

年間聖句 (2016年度)

このようにしてキリストに仕える人は、神に喜ばれ、人々に信頼されます。
ローマの信徒への手紙 14章18節

ちいさなかくに

校長 橘 明子

一学期の学校生活は、いろいろなことがありました。新しい学年になりたくさんの行事やそれぞれの課題に向き合い、子どもたちは自分の力を蓄えてきたことでしょう。心身共に成長する中、自分たちの生きる場所でどのように過ごしていくかを考えた一学期でもあったように思います。課題は一人ひとり違うため、自分自身で乗り越えることが大切であり、だからこそ力になる。「自分で乗り越える」・・・どこか冷たい感じがするかもしれません。しかし子どもたちを見ていると、友だちがなかなか乗り越えられなくて悩んでいることを知ると、その一人の課題を共有し、友だちに自分ができることを探して、力を寄せ合います。はじめは自分の課題に向き合うことで精一杯でまわりの手助けや支えに気づかないこともあるようですが、少しずつ友だちの助けに気づかされたという子どももいるようです。どのような形であれ、友だちの悩みに一人ひとりが考えて寄り添う姿は、平和への第一歩のような気がします。

相手を理解しようとするのが分かり合える始まり。愛することで愛されて、与えることで満たされていくとよく聞きます。夏休みは、小さな子どもたちでも平和について考える時が与えられています。しかし、今の社会は71年前の戦争の苦しみ忘れられていくのではないかと懸念されています。二度と繰り返してはいけないと言い続け、祈り続けていくためには、私たち一人ひとりが平和を作り出す生き方を見つけて行く必要があります。ひとりの平和への祈りが、願いが、優しさが、思いが伝わり、隣人とともに平和を作り出していくことに繋がるのではないのでしょうか。

平和への祈りとともにいつも口ずさむ讃美歌があります。讃美歌第二編 26番「ちいさなかくに」という

曲です。この讃美歌を歌うとき、子どもたちの顔が目に浮かび、心が静かに清くなる気がしてきます。

「ちいさなかくに」2番

♪「おはよう」とのあいさつも
こころをこめて交わすなら
その一日おたがいに
よろこばしく過ごすでしょう
あいのわざはちいさくても
神のみ手がはたらいて
なやみのおおい世のひとを
あかるくきよくするでしょう♪

小さな子どもたちが、素直な心で、隣人を気遣い、共に歩む姿を見せてくれています。小さなひとりを大切になさる神さまに導かれて、夏休みの日々がありますようにと願います。

一学期、保護者の皆様のご協力、ご理解に感謝いたします。ありがとうございました。楽しい夏休みでありますように・・・

